



5 スポーツ交流（指導へのチャレンジ）

アスリートスポーツコースの生徒たちによる事業。小学校単位の交流では、多くの子どもたちに体を動かすことの楽しさを伝え、希望制で実施している地域開放型スポーツクラブ「ジラソーレ与謝SC」では、よりハイレベルで密度の濃い交流をしています。実施にあたっては、想定・準備・指導のすべてを生徒が主体的に進めています。

6 実践経験（学校×社会でつくる「自分ならできる！」という感覚）

豊富な実践を通じて、答えのない社会を生きていく上で必要な力や納得解を見つける力、そして経験という誰にも奪われない財産を身に付けています。

▶ ①各教科における実践

地域人材・資源を活用した実習を通じて、今、勉強していることと社会とのつながりや、他者に貢献し感謝される経験を実感できる授業をつくっています。



▶ ③よさの高校生広報室@みらい

地域の魅力ある人やイベントを取材し、高校生ならではの感性を織り交ぜて町公式フェイスブックページで発信しています。本事業では、現場感覚・傾聴・質問・言語化の4つを大切にしています。

投稿記事は
コチラ



4 進路実現支援（自己実現）

将来の地域への「知の還元」を期待し、町の委託事業として総合型選抜（旧 AO 入試）対策講座を実施。2年連続で学年の30%を超える生徒が受講する人気講座となっています。



全国的に少子化が進む中、丹後地域では、平成28年ごろから高校再編の具体的な議論が持ち上がり、令和2年4月に加悦谷高校は宮津高校と合併し、府内初となる学舎制を採用した「宮津天橋高校加悦谷学舎」として新たな歴史を刻むこととなりました。今回の統合は、両学舎ともに幅広い進路に対応できる普通科として存続したこと、かつ、各学舎で特色ある教育が認められていることがポイントです。

加悦谷学舎

取り組んでいる6つの特色ある活動

高校魅力化推進事業がスタートした平成29年度以降、「子どもたちのためになること」を大切に、学校だけではなく町も生徒の成長を応援してきました。加悦谷学舎で実施している取り組みを紹介します。

1 放課活動（基礎から積み上げる学び）



加悦谷学舎の授業はすべて6限ですが、放課後を活用して学力の伸長はもちろんのこと、進学や就職など、生徒の目標や課題に応じた講習を実施しています。また、小規模少人数のメリットをいかし、丁寧な面談を通じて、生徒の感情の背景まで理解できるよう努めています。

3 キャリア教育（目標から逆算する学び）

進路探究講座では、自立した人生を送るために必要な「自分軸」をつくる学びを実施しています。また、「Kayadani 仕事図鑑」では、生徒の興味がある分野の職業に従事している地元の方を講師に迎え、対話や質疑応答を通じて、仕事に対する意識の向上や進路の明確化を図る機会としています。



2 地域探究（自己理解）

地場産業や地域の祭りは、強みや魅力があるから数百年に渡り続いてきた経緯があります。身近にある教育資源を自分の人生にいかすという観点で学ぶことによって、自分の強みや弱み、自分にしかない価値など、自己理解につながる探究を推進しています。



声 生徒の声 & 地元講師の声

- 世界に出品していたり、有名な方とコラボしていたりすごいと思った。織物をしている家族を尊敬しようと思いました。（探究「丹後ちりめん」）
- こんな小さな町で全国初のことがあったびっくりしました。すごく誇りに思います。（探究「与謝野町の農業」）
- 私たち大人が学校という場でもっと対話をして地域を伝えていかなければと思いました。（就職講話会「仕事の意義、地元の仕事を知る」）



町長対話授業